

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）  
分担研究報告書

特発性正常圧水頭症の診断ガイドライン作成に関する研究  
研究分担者 佐々木 真理 岩手医科大学 教授

研究要旨

特発性正常圧水頭症診療ガイドラインの改訂に向けて、画像診断に関する論文のレビューとエビデンステーブルの作成を実施し、現行ガイドライン発刊後のエビデンスを明らかにした。

A. 研究目的

特発性正常圧水頭症 (iNPH) は髄液シャント術によって治療可能な疾患であるが、その診断は容易ではない。本疾患に関する診療ガイドラインはこれまで 2004 年・2011 年に刊行され、疾患認知度の向上、治療件数の増加、研究の加速につながった。しかしながら、その後多くの論文が発表され、未解決の課題も残っていることから、ガイドラインの再改訂が必要と考えられる。

今年度は、研究班事務局にて実施された文献検索結果を元に画像診断に関する論文のレビューを行い、エビデンステーブルを作成することを目標とした。

B. 研究方法

研究班事務局が実施した診断に関する文献リスト約 470 件から、画像診断に関する文献を抽出し、順天堂大学青木茂樹教授、近畿大学石井一成教授と技術毎に分担し、エビデンステーブルを作成した。

また、リサーチクエスチョンを検討した。  
(倫理面への配慮)

該当無し

C. 研究結果

フェーズコントラスト MRI に関する文献 7 件、MRI (VBM, MRS, ASL, DTI, T1WI, T2WI, T2\*WI), CT に関する文献 8 件についてレビューし、エビデンステーブルを作成した。

D. 考察

今回、従来の Minds2007 の手法での文献レビューとエビデンステーブルの作成を実施し、前回のガイドライン発刊以降の iNPH 画像診断に関するエビデンスを明らかにした。来年度以降は、Minds2014 の手法に準じて当該領域のシステムティックレビューを実施する予定である。

E. 結論

診療ガイドライン改定を目的に、iNPH の画像診断に関する文献レビューを実施し、エビデンステーブルを作成した。

F. 健康危険情報

該当無し

G. 研究発表

1. 論文発表

無し

2. 学会発表

無し

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

特に無し

2. 実用新案登録

特に無し

3. その他

特に無し